

Ⅲ 開催概要

Ⅲ-(1) 開催概要

■名称

あいちトリエンナーレ2010/Aichi Triennale 2010

■テーマ

都市の祝祭 Arts and Cities

■開催目的

- ・ 新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献する
- ・ 現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図る
- ・ 文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図る

■芸術監督

建畠 哲(国立国際美術館館長)

(※2011年1月から京都市立芸術大学学長)

■会期

2010年(平成22年)8月21日(土)－10月31日(日) [72日間]

■会場

愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場

その他、名古屋城、オアシス21、中央広小路ビル、七ツ寺共同スタジオなど

■主催

あいちトリエンナーレ実行委員会、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館

■特別協力

国際交流基金

■後援

文化庁 / オーストラリア大使館 / ベルギー王国大使館 / ベルギーフランドル交流センター / 東京日仏学院

■助成

財団法人地域創造 / 芸術文化振興基金 / Australia Council for the Arts / CULTURESFRANCE /
Bundesministerium für Unterricht, Kunst und Kultur / オーストリア大使館(オーストリア文化フォーラム) /
State Corporation For Spanish Cultural Action Abroad (SEACEX) / ブリティッシュ・カウンシル /
社団法人私的録音補償金管理協会(sarah) / フランス大使館 / 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 /
Mexico Conaculta / Goethe-Institut Japan in Kyoto(ドイツ文化センター(京都)) / 財団法人東海テレビ国際基金 /
Arts Council England / 関西日仏交流会館 ヴィラ九条山 / La République et Canton de Genève /
La Ville de Genève / Pro Helvetia / Ville de Lille / La Fondazione del Collegio Artistico Venturoli di Bologna

■協賛

社団法人愛知県医師会 / トヨタ自動車株式会社 / イオン株式会社 / 社団法人愛知県歯科医師会 / 愛知県私学協会 / 東海旅客鉄道株式会社 / 株式会社ナゴヤキャスル / 社団法人愛知県宅地建物取引業協会 / 中部電力株式会社 / 東和不動産株式会社 / 長澤順子 / 社団法人愛知県私立幼稚園連盟 / キリックスグループ / 社団法人愛知県薬剤師会 / 名港海運株式会社 / 名古屋南ロータリークラブ / 株式会社JTB 中部 / 株式会社宇佐美鉱油 / 岡谷鋼機株式会社 / 株式会社資生堂 / 東邦ガス株式会社 / 株式会社ニッショー / 愛知県美容業生活衛生同業組合 / 愛知県農業土木研究会 / 社団法人愛知県土木研究会 / 愛知県地域婦人団体連絡協議会 / 社団法人愛知県建設業協会 / 株式会社安部日鋼工業中部支店 / アイシン精機株式会社 / 稲沢建設株式会社 / 愛知県女性団体連盟 / 社団法人愛知建築士会 / 株式会社伊藤建築設計事務所 / 黒金化成株式会社 / 光源舎オートプロダクツ株式会社 / 中部アイティ協同組合 / 戸田建設株式会社 / 豊田通商株式会社 / 株式会社名古屋銀行 / 株式会社日建設 / 社団法人日本建築家協会東海支部愛知地域会 / 社団法人愛知ビルメンテナンス協会 / 名古屋ファッション専門学校 / 株式会社両口屋是清 / 株式会社デンソー / ウルフギヤング・バック / 三和テクノ株式会社 / 医療法人大雄会 / 小島プレス工業株式会社 / JA グループ愛知 / 株式会社グローバルキャピタルマネジメント / 愛知県行政書士会 / 中部土木株式会社 / 竹田印刷株式会社 / 名古屋高速道路公社 / 財団法人中部電気保安協会 / 修文女子高等学校 / 愛知県住宅関連産業協議会 / 社団法人名古屋薬業倶楽部 / 学校法人専門学校日本デザイナー芸術学院 / 社団法人愛知県鍼灸マッサージ師会 / 鹿島建設株式会社中部支店 / 社団法人ガールスカウト日本連盟愛知県支部 / ホーユー株式会社 / 愛知県商店街振興組合連合会 / 社団法人愛知県建築士事務所協会 / 株式会社浦野設計 / 株式会社コングレ / 株式会社ジェイテクト / 住田建設株式会社 / 有限会社津島ロックサービス / 東海労働金庫 / トーテックアメニティ株式会社 / 株式会社トリックス / 一般社団法人名古屋建築設計研究会 / 日本空調システム株式会社 / 山崎拓史 / ワンピース倶楽部 / ユニー株式会社 / セクダム株式会社 / 愛知県住宅供給公社 / 愛知県弁護士会 / 愛知県農業土木測量設計技術研究会 / 愛知県政功労者協会 / 中部国際空港株式会社 / 愛知県道路公社 / 社団法人愛知県造園建設業協会 / 財団法人愛知県健康づくり振興事業団 / 財団法人愛知県労働協会 / 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 / 愛知県モラロジー協議会 / 郵便事業株式会社東海支社 / 社会福祉法人愛知県厚生事業団 / 株式会社三菱東京UFJ銀行 / 愛知県土地改良事業団体連合会 / 愛知県中華料理生活衛生同業組合 / 愛知製鋼株式会社 / 株式会社NHK ブラネット中部支社 / 川北電気工業株式会社 / 特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋 / 大成株式会社 / 泰生商事株式会社 / 大同メタル工業株式会社 / 株式会社ダスキングリーングループ東海北陸地域本部 / 中部ガス株式会社 / 株式会社中部経済新聞社 / 中部広島県人会 / 津島ロータリークラブ / 東海島根県人会 / 東海和歌山県人会 / 豊田合成株式会社 / 名古屋テレビ塔株式会社 / 社団法人名古屋東法学会女性部会 / 阪和興業株式会社 / フジパン株式会社 / 山下隆義会計事務所 / LA PENSEE / 財団法人あいち産業振興機構 / 大治町文化協会 / アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 / 愛知県森林組合連合会 / 名古屋ホストライオンズクラブ / 椋山女学園大学 / 東海福島県人会 / 愛知県ビルメンテナンス協同組合 / 朝日電気工業株式会社 / 小俣シャッター工業株式会社名古屋支店 / 三金会・東海圏開発プロジェクト分科会 / 三精輸送機株式会社 / 株式会社東畑建築事務所名古屋事務所 / トステム鈴木シャッター株式会社名古屋支店 / 株式会社トロンマネージメント / 富士防災設備株式会社名古屋支店 / 株式会社松村電機製作所中部支店 / 株式会社山武 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社ヤマハミュージック東海 / 有限会社緑樹苑

■協力

カリモク家具株式会社 / セントラル画材株式会社 / 株式会社竹中工務店 / 名古屋鉄道株式会社 / 株式会社リボンワールド / 積水ハウス株式会社 / 三菱地所株式会社 / 株式会社東海インタービジョン / 株式会社ウィルコム / 株式会社サクラクレパス / 株式会社アクアテック / キリンビール株式会社 / ペんてる株式会社

■会場提供

株式会社アサヒ ファシリティズ / NTT都市開発株式会社 / 料亭河文 / 喫茶クラウン / スターネットジャパン株式会社 / 株式会社セントラルパーク / 瀧定名古屋株式会社 / 株式会社多湖不動産コンサルタント / 中愛株式会社 / 東陽倉庫株式会社 / 豊島株式会社 / 名古屋市立富士中学校 / 丹羽幸株式会社 / 林八百吉株式会社 / 株式会社二葉 / 堀田商事株式会社 / 八木兵株式会社 / 山本洋品雑貨株式会社 / 吉田商事株式会社 / 株式会社綿寛商店 / ゑびすビル

■認定

社団法人企業メセナ協議会

Ⅲ-(2) 企画体制 (平成22年8月21日時点)

■芸術監督

建島 哲 (国立国際美術館館長)

1947年京都府生まれ。早稲田大学文学部仏文学科卒業後、文化庁、国立国際美術館研究官、多摩美術大学教授を経て、2005年から国立国際美術館館長。1990年と93年に、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本コミッショナーを務めたほか、2001年横浜トリエンナーレアーティスティック・ディレクター。その他、釜山ビエンナーレエキジビション・ディレクティングを務めるなど、国際的な芸術祭の経験多数。(※2011年1月から京都市立芸術大学学長)

■キュレーター

ピエル・ルイジ・タッツィ (美術評論家、インディペンデント・キュレーター、イタリア在住) /
ヨヘン・フォルツ (インオティム現代美術センターディレクター、ブラジル在住) /
拝戸雅彦 (愛知県美術館主任学芸員) / 笠木日南子 (名古屋市美術館学芸員) /
越後谷卓司 [映像担当] (愛知県文化情報センター主任学芸員) /
唐津絵理 [パフォーミング・アーツ担当] (愛知県文化情報センター主任学芸員)

■ゲストキュレーター

エマニュエル・ドゥ・モンガソン (インディペンデント・キュレーター、フランス在住)

■アソシエイトキュレーター

波岡冬見 (インディペンデント・キュレーター、スイス在住) / 原 久子 (大阪電気通信大学教授)

■プロデューサー

大脇可子 [オペラ担当] (財団法人愛知県文化振興事業団主査)

■コーディネーター

藤井明子 [パフォーミング・アーツ担当] (愛知県文化情報センター主任学芸員) /
水野 学 [音楽担当] (財団法人愛知県文化振興事業団主任)

■エデュケーター

伊藤優子 [美術担当] (フリーランス・エデュケーター)

■アーキテクト

武藤 隆 (大同大学准教授)

■アシスタントキュレーター (現代美術)

林 育正 (インディペンデント・キュレーター) / 吉田有里 (インディペンデント・キュレーター) /
岡村知子 (インディペンデント・キュレーター) / 副田一穂 (愛知県美術館学芸員) /
野口絵里子 (愛知県国際芸術祭推進室主事) / 小澤京子 (インディペンデント・キュレーター) /
赤井あずみ (愛知県国際芸術祭推進室主事)

■アシスタントキュレーター (パフォーミング・アーツ)

山口佳子 (NPO法人アルファルファ代表) / 本多康紀 (愛知県国際芸術祭推進室主事) /
岩佐暁子 (愛知県国際芸術祭推進室主事)

■企画コンペコーディネーター

野田路子 (愛知県国際芸術祭推進室主事) / 田中由紀子 (フリーランス・コーディネーター)

■アシスタントエデュケーター

鵜飼幸代 (中学校非常勤講師) / 一柳初恵 (小学校造形講師) /
松村淳子 (フリーランス・エデュケーター) / 近藤令子 (愛知県国際芸術祭推進室主事) /
徳重道朗 (フリーランス・エデュケーター)

■アシスタント・アーキテクト

赤坂知也 (アーキテクト)

■エディター

中西園子 (愛知県国際芸術祭推進室主事) / かないみき (フリーランス・エディター)

Ⅲ-(3) 主な会場

■愛知芸術文化センター

愛知県美術館と本格的なオペラを上演可能な大ホール、小ホールやコンサートホールなどが複合した日本屈指の大規模公立文化施設。1992年開館。
 名古屋市東区東桜1-13-2
 9:00~22:00(会期中の美術館開館時間：火・水・日10:00~18:00 木・金・土10:00~20:00)
 月休(月曜日が祝日の場合は翌日休館、9/21、10/18、10/25は臨時開館)
 地下鉄東山線/名城線「栄」徒歩2分、名鉄瀬戸線「栄町」徒歩2分



■名古屋市美術館

名古屋市中心の緑豊かな白川公園の中にある美術館。黒川紀章の代表作として名高い。1988年開館。
 名古屋市中区栄2-17-25 火~木・土・日9:30~17:00 金9:30~20:00
 月休(月曜日が祝日の場合は翌日休館、10/18、10/25は臨時開館)
 地下鉄東山線/鶴舞線「伏見」徒歩8分、地下鉄鶴舞線「大須観音」徒歩7分、
 地下鉄名城線「矢場町」徒歩10分



■長者町会場

江戸時代中期から昭和初期までは花街として賑わい、戦後は日本三大繊維問屋街の一つとして発展。空きビルや駐車場用地等をトリエンナーレのスペースに活用する。サポーターズクラブ(LOVEトリーズ)によるカフェもオープン。
 名古屋市中区錦2 11:00~19:00(金のみ11:00~20:00) 無休
 地下鉄東山線/鶴舞線「伏見」徒歩5分、地下鉄桜通線/鶴舞線「丸の内」徒歩5分



■納屋橋会場

堀川沿い、納屋橋の南に位置する施設。ボウリング場などとして使用されてきたユニークな建物。
 名古屋市中区栄1-2-45 11:00~19:00(金のみ11:00~20:00) 無休
 地下鉄東山線/鶴舞線「伏見」徒歩5分



※その他、名古屋城、オアシス 21、中央広小路ビル、七ツ寺共同スタジオ等の都市空間で展開するほか、様々な文化芸術施設等と連携して開催。

○会場周辺図



○展示面積(現代美術の国際展)

会場	展示面積
愛知芸術文化センター	7,449 m ²
名古屋市美術館	1,960 m ²
長者町会場	4,098 m ²
納屋橋会場	2,500 m ²
オアシス 21	1,760 m ²
中央広小路ビル	360 m ²
合計	18,127 m ²

※常設的な展示を行った会場の面積を計上した。

Ⅲ-(4) あいちトリエンナーレ実行委員会組織図 (平成 22 年 8 月 21 日現在)



Ⅲ- (5) 開催までの経緯

<平成 17 年度(2005 年度)>

平成 18 年 3 月	・「新しい政策の指針」公表
-------------	---------------

我が国屈指の複合的文化芸術施設である愛知芸術文化センターの機能や蓄積を十分に活用するとの観点や、経済面のみならず、文化芸術面においても世界に向けた創造力、発信力を一層強化しながら、心の豊かさや潤いのある生活が実感できる魅力的な地域づくりに繋げていくとの視点から、平成 18 年 3 月に策定した「新しい政策の指針」において、「愛知芸術文化センターを拠点として、国際的に注目される文化芸術イベントの開催をめざす」こととした。

<平成 18 年度(2006 年度)>

平成 18 年 12 月 25 日	・「愛知の文化芸術振興に関する有識者懇談会」報告書 ～文化芸術あいち百年の軸をつくる～
-------------------	--

平成 18 年度に開催した「愛知の文化芸術振興に関する有識者懇談会」において、「文化芸術施策の総合戦略としての愛知ビエンナーレを開催すべき」との提言を受ける。

<平成 19 年度(2007 年度)>

平成 19 年 12 月	・「文化芸術創造あいちづくり推進方針」策定
--------------	-----------------------

国際芸術祭の開催を「文化芸術政策全体を推進するための先導的役割を担う取組」として位置づける。

平成 20 年 3 月 21 日	・「あいち国際芸術祭(仮称)基本構想」公表
------------------	-----------------------

初回となる 2010 年は、愛知芸術文化センターの複合機能を活かし、現代美術を中心に、舞台芸術も含めた芸術祭を開催していくこと、この地域から世界に向けた、新しい芸術の創造・発信に加え、芸術文化の普及・教育、祝祭的な賑わいを図ることなどを盛り込んだ基本構想を策定・公表。

○「あいち国際芸術祭(仮称)基本構想」の概要

開催意義	「国際文化交流の豊富な基盤やノウハウ」、「世界にも誇り得る複合的文化芸術施設とその活動の蓄積」、「様々な文化芸術資源」などを十分に活かしながら、経済面だけではなく文化芸術面でも日本、世界に貢献。
開催目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。 ・ 現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。 ・ 文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。
事業構想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造・発信：初回(2010年)は美術部門の現代美術を基軸とするが、愛知芸術文化センターの複合機能を活かし、音楽、舞踊、オペラなども併せて展開。 ・ 普及・教育：美術、舞台芸術などの部門で幅広い層を対象にした様々な普及・教育プログラムを展開。 ・ 祝祭的展開：美術、舞台芸術を始め、伝統芸能、生活文化も含む様々な部門で県民に親しまれる事業を展開。

<平成 20 年度 (2008 年度)>

平成 20 年 6 月 28 日	【設立総会】 ・実行委員会の設立 【第 1 回運営会議】 ・平成 20 年度事業計画及び収支予算等決定
平成 20 年 7 月 22 日	・芸術監督選任（平成 20 年 8 月 1 日芸術監督就任）
平成 20 年 10 月 14 日	【第 2 回運営会議】 ・正式名称、テーマ、基本方針決定・公表

○正式名称、テーマ・基本方針の決定・公表

- ・正式名称
あいちトリエンナーレ 2010 / Aichi Triennale 2010
- ・テーマ
都市の祝祭 Arts and Cities
- ・基本方針（要約）
あいちトリエンナーレ 2010 を愛知・名古屋の文化のシンボルとして多くの市民に親しまれ、海外への芸術の発信基地としても注目されるユニークな特色をもったものにするために、次の三つの基本方針を掲げた。
 - 方針① 美術を中心とした現代芸術の先端的な動向を、国際的な視野によって紹介する。
 - 方針② 美術館や劇場のみならずまちなかへも進出し、都市の祝祭としての高揚感を演出する。
 - 方針③ 現代美術を基軸にしつつ、オペラやダンス、音楽などのパフォーマンス・アートをも積極的に取り込む。

▽シンポジウム：「今、国際トリエンナーレとは」

開催日：平成 20 年 10 月 14 日

場所：愛知芸術文化センター

▽プレイベント：アニマルズ in AAC ～三沢厚彦の世界～

会期：平成 21 年 3 月 24 日～平成 21 年 5 月 24 日

場所：愛知芸術文化センター

▽プレイベント：「ニプロール」公演「no direction。」

公演日：平成 21 年 3 月 25 日・26 日

場所：愛知芸術文化センター

平成 21 年 3 月 25 日	【第 3 回運営会議】 ・企画概要、ロゴマーク公表 ・平成 21 年度事業計画及び収支予算等決定
------------------	---

○ロゴマークの公表

《ロゴマークデザインのコンセプト》

- ・あいちトリエンナーレの頭文字、A と T を組合せ、芸術の先端的な動向を示す矢印として形作られている。
- ・その矢印は、従来のロゴマークのような固定的なものではなく、あらゆる方向を指し示すことで、芸術表現の多様性、国内外への発信、祝祭的ひろがりを表現できる。
- ・また、街中にもひろがる会場では、視覚的な案内表示としても機能するように考えられている。

デザイナー：山本 誠（愛知県生まれ、東京都在住。愛知県立芸術大学卒業）



<平成 21 年度(2009 年度)>

平成 21 年 8 月 21 日	【第 4 回運営会議】 ・企画概要公表
------------------	-------------------------------

▽プレイベント：うしろの正面 ～アーティストたちの誠実な遊戯～
 会期：平成 21 年 8 月 8 日～平成 21 年 9 月 23 日
 場所：愛知芸術文化センター

▽プレイベント：放課後のはらっぱ ～榎田伸也とその教え子たち～
 会期：平成 21 年 8 月 22 日～平成 21 年 10 月 25 日
 場所：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館

▽プレイベント：長者町プロジェクト 2009
 会期：平成 21 年 10 月 10 日～平成 21 年 11 月 15 日
 場所：長者町

平成 21 年 12 月 3 日	・東京での記者会見開催
------------------	-------------

▽プレイベント(関連イベント)：あいちアートの森=アートが開くあいちの未来=
 会期：平成 21 年 12 月 4 日～平成 22 年 3 月 14 日
 場所：名古屋市街地(広小路/堀川)、奥三河地区(東栄町)、常滑地区、
 豊田地区、佐久島(一色町)で順次開催

▽プレイベント：キッズトリエンナーレ 2010 プレイベント
 会期：平成 22 年 1 月 9 日～平成 22 年 3 月 14 日の間で 3 つのプロ
 グラムを順次開催、
 場所：愛知芸術文化センター、愛知県児童総合センター

平成 22 年 3 月 25 日	【第 5 回運営会議】 ・企画概要公表 ・平成 22 年度事業計画及び収支予算等決定
------------------	---

<平成 22 年度(2010 年度)>

平成 22 年 4 月～5 月	・台北(4 月 30 日)、北京(5 月 5 日)での記者会見開催
-----------------	-----------------------------------

平成 22 年 7 月	・記者会見開催 (愛知(7 月 6 日)、ソウル(7 月 7 日)、東京(7 月 14 日)、大阪(7 月 15 日))
-------------	---

平成 22 年 8 月～10 月	・あいちトリエンナーレ 2010 開催(8 月 21 日～10 月 31 日)
------------------	---